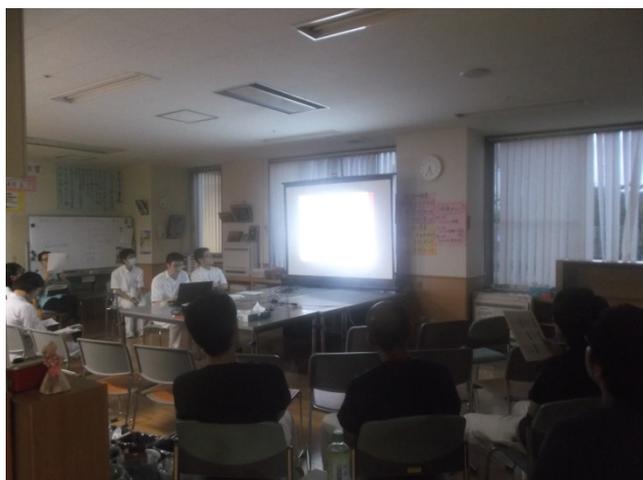


心臓リハビリテーション学習会の第3回目は2016年9月8日に薬剤師により、「循環器疾患の薬剤指導」について学習会を行いました。

心臓リハビリテーションは包括的な予防プログラムです。薬剤師以外の職種も積極的に薬剤指導に関わっていくことが重要です。

また、適切に心臓リハビリテーションを実施するためには、何のために薬剤が投与されているか、その種類や量を医療者はもちろんのこと、患者さんも把握することが重要です。

今回は、循環器疾患の薬剤知識と薬剤師以外の職種が薬剤指導を行う上でのヒントを教えてくれるような内容となっていました。



【アンケート結果（33名）】

Q1「利尿薬の特徴について理解できましたか?」、Q2「薬と食べ物の相互作用について理解できましたか?」、Q3「β遮断薬の特徴について理解できましたか?」でよくわかった、わかったと回答している方の割合は Q1:65%,Q2:77%,Q3:71%という結果でした。よく理解できた方も多くいる一方で、よくわからなかったという方もおり、今後も薬剤についての学習をしていきたいとのコメントも多かったです。

【参加者の感想】

管理栄養士；

- ・薬と食べ物については、ある程度理解してましたが、今後利尿剤などについても理解した上で患者様をみていきたいと感じました。

看護師；

- ・薬物療法の選択等よくわからなかった。薬物療法の重要性をもっと知れたかった（飲み忘れさせないように普段頑張っているのです!）。

理学療法士；

- ・薬と食べ物の相互作用についての重要性を再認識できた。運動療法に加え、薬物療法の

重要性も痛感し、基礎的な知識として学習する必要性を感じた。

- ・患者様に運動療法を加える上で、薬の知識として良い復習になった。今後もわからない点は学習していきたく。

作業療法士；

- ・服薬してからの薬の持続時間等の知識もふやしていきたいと思った。
- ・脱水、薬の効能、食事との関係など詳しく知ることができ良かった。

臨床検査技師；

- ・元々の心不全の病態の理解が大変だった。食べ物についても薬効を弱まる食べ物に関し知らない物があり知れてよかった。βブロッカーについては、難しく理解しづらかった。
- ・薬についての話を聞くのは初めてでしたが、わかりやすくききやすかったです。

【学習会講師より】

短い時間でしたが、利尿薬や飲み合わせ、β遮断薬に関して少しでも理解できたら幸いです。薬の名前は知っていても、細かいところは知らなかった方も多いと思います。

専門用語も多く、わかりにくかった部分もあったかもしれませんが。なかなか全ての患者さんを把握することは難しいですが、今回の学習会を通して少しでも薬局含め他の職種と情報共有できる機会が増えたら嬉しいです。